

猫の問題は 人間の問題

NPO法人もりねこ・工藤理事長

解決する責任「私たちに」

水沢で研修会

盛岡市菜園のNPO法人もりねこの工藤幸枝理事長を講師に迎えた「動物愛護研修会」は23日、水沢区聖大の水沢地区センターで開かれた。工藤理事長は「保護猫カフェ」の取り組みを交え、「猫の問題は人の問題。私たちにトラブル解決の責任がある」と訴えた。

県南広域振興局保 愛護推進活動の一環。 健福祉環境部の動物 市民や行政関係者ら

約30人が参加し、同法人の先進事例に触れながら保護猫の譲渡の在り方に理解を深めた。



「猫の問題は人の問題」と提起する工藤幸枝理事長

法人格を取得した。

年間譲渡数は約80匹。子猫だけでなく、成猫でも譲渡につなげられるのが同法人の強みといい、これまで累計329匹が新しい家族と巡り合った。昨年1月には保護シェルターを設

け、ハンディ猫のケアを拡充。盛岡市保健所と連携し、多頭飼育崩壊への対応も進めている。同法人は、2025年までに県内の殺処分ゼロを目指している。根本的な解決策に▽適正飼育の普及▽飼い主不在の猫への対応▽人間の意識向上――を挙げ、「猫も人も幸せに生きる社会を実現させるためには行政、動物病院、地域、企業などとの連携が欠かせない」と呼び掛けた。

もりねこは、個人事業として14(平成26)年に開業した。ポランティアの持ち出しによる保護活動に限界を感じ、発想を転換。スタッフ自ら活動費を稼ぎ、自走しながら新たに「保護猫カフェ」を創設し、2年前にNPO